

グループワーク

2022年の3月初めて精神疾患の方を中心にグループワークを開き、好評であったので昨年度は計7回、テーマを皆で事前に決めて進めてみました。

5月「悩み」7月「ストレス解消」8月「余暇の過ごし方」10月「愚痴」11月「心を開くって?」1月3月「幸せとは」、それぞれが経験してきた過去から現在に至る過程と今を生きる自分を少しずつ出しながら、互いの話や考えを聞き、発表し有意義な時間となったようです。

どの回でも、今通所していることへの感謝や事業の行く末を考え発言してくれるメンバーさんの声に、参加している職員は身が引き締まる思いと共に、同士と話しているような心強さも感じていました。結局私たち職員が励まされ勉強の時間をもらっていることになっています。

3月のワークではあるメンバーさんから「Joint Joyの10年後を支えている人を作っていくか」といけませんね。ここがなくなると困るのは僕たちだから」と法人が抱える課題にグサッと矢を突き刺さしてくれました。そしてその場で「ここに参加しているメンバーがJoint Joyをささえるのよ」と笑顔で返してみました。みなさんがどのように思われたかわかりませんが、本当にそうならばJoint Joyが描いた真の協働が実現できると思っています。

次は他の活動場所に参加されている引きこもりがちな方たちと一緒に話す機会を持つなど計画しており、そろそろ今年度も始めようと思います。

= 編集後記 =

11年前就労支援をすると私が話したら、「また一番大変なところをするんですね」と福祉事業をしている先輩に言われたことがありました。確かにとその言葉を思い出すと、自分自身の力量のなさを痛感し、これでよいのかと思悩むときもあります。このJoyたよりを制作させて頂いていると、この間にあった出来事や会話が思い出されます。4月久しぶりのご家族との懇談会ではグループホームのお話も出ました。

丸い地球の上の四季が美しい日本の関西に住み、生きにくさを感じる人たちの困りごとを一緒に解決して行くことを40歳からのテーマに生き今、戦争や核実験、自然の崩壊、貧困…と時代や時が流れても悲しいことがなくなることも理解できるようになってきました。が、もうしばらく近くにいる生きにくさの中にいる人たちと社会を変える活動を続け、何に繋がるか繋がらないかわかりませんがががいてみようと思います。 山本

= 賛助会員ならびに正会員 ご登録のお願い =

賛助会員

Joint Joyの情報を優先的にお知らせいたします。総会へ参加いただきご意見等もお伺いし、法人の成長と一緒に見守っていただいております。

正会員

Joint Joyの運営にかかわり、よりよい組織つくりのためにご尽力いただいております。

会費(年間) ※入会金不要
賛助会員 個人 1口 3,000円
賛助会員 団体 1口 5,000円
正会員 個人 1口 10,000円



どうぞよろしくお願ひいたします。

〒614-8376

京都府八幡市男山竹園2-1 A03-110

☎075-981-2111 fax075-981-2277

特定非営利活動法人 Joint Joy

e-mail joint-0523@forest.ocn.ne.jp

HP <http://www.jointjoy.jp>

指定サービス事業所

就労継続B 就労定着 No. 2612901369

指定計画相談 No. 2632901522

Joy たより No.16



2023.5 発行

特定非営利活動法人 Joint Joy

はじめに

2023年度が始まり1か月、昨年末から新しく利用を始められた方も多く、今年度はメンバー30名、職員常勤非常勤13名ボランティア3名の大人数で始まりました。今年度はJoint Joy設立11期目となり、次のステージに向かう1年目でもあります。自然界や社会経済、国内情勢が大きく変わろうとしている中で、福祉サービス事業と収益事業の将来を描くことは、大変なむずかしさもあると感じています。しかし、歴史や先人の教えを参考にし、「いきること」に真摯に向き合いながら、その時々に必要な行動を選択していくことで「人としていきること」につながると考えています。

毎日職員もメンバーさんも忙しくさせて頂いて、このJoyたよりも1年半のご無沙汰になってしまいました。未来につながる活動を選択していくためにも、今年こそは日々の様子や課題などを発信し、Joint Joyを大切に思っ下さる皆様のお声と共にこの法人が成長できるよう進めていこうと考えています。



日々Joint Joyを支える職員からのメッセージ

何がきっかけだったのかも忘れましたが、「私の5年史」という日記帳を見つけて書き始め、今年5冊目の最下段を記入中です。その日の出来事や思ったことなどを5行以内で記すのですが、そうそうドラマチックなことなど起こるはずもなく「去年と同じ事書いている。進歩ないなあ〜」と思うことがほとんどです。

今回この原稿を書くのに、開所当時のページなど少し読み返してみました。

おむすびつくりをあれこれ工夫したこと、おむすびを1日600個も作ったこと、夜半からお弁当600食をつくったことなど、よく覚えていることもあれば、懐かしい名前を見つけたり、初孫が生まれたのは開所の月だったと思ひ出したりしました。そして0からスタートした利用者さんが今年度は30名になっていることや、歩いて数食を配り始めたお弁当が今では車3台で100食を超える日もあることを思うと、私と違ってJoint Joyはこの10年でとても大きく成長したのだと改めて感じたのでした。

また、それは代表はじめ創設メンバーの思いに賛同して、いろんな立場や形—法人設立の出資者、ボランティア、利用者やご家族、お客様、関係機関、職員—でかかわり協力し支えてくださった多くの方々全てのおかげであると、感謝の思いもあります。

さてJoint Joyの次の10年…年齢上10年後は「職員」という形ではないでしょうが、できれば元気でJoint Joyに関わっていきたいと思っています。“Joyたより”を読んでくださっている皆さんと一緒にJoint Joyの更なる成長を支えていければ幸いです。 鎌田



スタッフからのメッセージつづき♡



Joint Joy に入り約 5 年が経ちました。最初のころはメンバーさんとの接し方が難しく、悩むことも多くありました。そのような日々の中、作業と一緒にいる事を通して、メンバーさんが新しいことに挑戦しようと頑張っておられる姿をみたり、会話をしたりしていると、私と同じ悩みを持っておられることに気が付きました。そして、どこか身構えていた自分が居ることに気が付きました。

こうして 5 年があつという間に過ぎ、メンバーさんの頑張りを少しずつ形にしていくサポートの仕事を通して、自分自身も少しずつ成長してこれました。

この 1 年を振り返ってもメンバーさんのできることが増えていることは、自分自身もうれしくなります。メンバーさんの頑張りを少しずつ形にしていくサポートに磨きをかけて、私自身もお客様に美味しいお菓子をお届けできるよう頑張りたいと思います。 田伏



3 年目の波多野です。

以前の文章では「自分のことについていっばい」と書いたのですが、仕事にも慣れて周りが見えるようになりました。支援する中で、難しいと感じることもありますが、それ以上に喜びがあり「あーだこーだ」と言いながら仕事をし、共に成長できる環境で働けることが、今の私の幸せなんでしょうな〜としみじみ感じています。

Joint Joy に勤めて 2 年がたち、沢山の弁当造りにも慣れてきました。今まで作ったことのないメニューにもちょうせんして、お客様に喜んでいただける弁当を一生懸命頑張ってお作っています。

川本

私もシニア世代といわれる年齢に入り早 5 年となり、色々と実感するようになりました。思い返せば、悩み迷い決断の繰り返しの人生だった様な気がします。

ここからはある人の格言ですが「迷わず行けよ 行けばわかるさ 人は前に進むこと、挑戦をあきらめたときに年老いていく」この言葉を残りの人生の心の糧にして頑張っていきたいと思っています。 橋本

Joint Joy で働き始めて約半年になります。今はおむすび部門の管理やお弁当の調理補助、配達などを行っています。

以前は移動の多い職場で、全国色々な場所で働いてきましたが、地元が恋しくなって八幡に帰ってきました。

ある日、「お仕事頑張ります」と、体調不良で休まれていた利用者さんが休み明けに、僕の似顔絵とその横にこのメッセージを書いて渡してくれました。

今まで仕事をしてきて友人や家族から「仕事頑張ってるね！」と応援されることはよくありましたが「おしごとがんばります」というシンプルだけど力強い決意表明は、今までにあまり言われたことがない言葉でした。そして、この言葉をもたらすことが就労支援に携わるという事なんだと思いました。

就労支援事業所はいろいろな障がいをもった利用者さんがおられ、その個性もまた様々です。しかし、この事業所で働く利用者さん達はみんな「働きたい」という同じ思いで通われています。

それぞれの課題をどうクリアしていくか共に考え、共に乗り越えていくことが職員が行う就労支援という仕事だと思っています。

これからも一人一人に寄り添い、時には叱咤激励し沢山の「お仕事頑張ります」の言葉が引き出せるような仕事場にしたいと思っています。 原



日々 Joint Joy を支えるメンバーさんから

実家にいたころはすべて親の財布から賄ってもらってました。親からしてみれば、お小遣いの使い道を縛るつもりはなかったでしょうが、私は「逆らわない」という意識をしていました。

自分で稼いだお金を手にして、趣味にお金をかける罪悪感が薄れました。一人暮らしを始めて、自分で自分の時間を好きにできる経験をしました。上手いくわけもなく相談をして、今はヘルパーさんに来てもらい一人暮らしを続けています。

相談や計画、そして実際に協力してくれた Joint Joy には頭が上がらないなあ…という気持ちです。一人で生きていくことに難しさを持つ私たちと向き合ってくれてありがとうございます。

これからもよろしくお祈りします(*^_^*)V!

N さん



2023 収益事業と工賃

2022 年度の平均工賃がやっと 20,000 円台を超え、今年度目標は 25,000 円です!

メンバーさんにお支払いする工賃は、作業内容と日常の様子を職員全員で評価し独自の表とてらしあわせてから時間給(130~700 円)をだします。様々なハンデの方にご利用いただいているため、努力が公平に現われるように内容の検討と評価は毎年 1 回行うようにしています。月額にすると、通所日数や仕事時間によりますが、2022 年度は約 8,000~60,000 円程度受け取られています。

【おむすび】おむすびを始めて 11 年目。当初と変わらない味と“おおい”をこめて絶賛継続!! 作り手が変わると味が変わる課題を工夫①基本に忠実②新しさをプラス。このおいしさをもっと知っていただくためにどうするか…販売戦略を考えているところです。

【惣菜弁当】3 年半お世話になったヤマト福祉財団「夢への懸け橋実践塾」が今年 4 月卒業となりました。参加当初一月 1000 食に満たない販売数が 2000 食を超えるようになってきました。メンバーさんの力も増し、仕込み準備から詰め作業、配達の振り分け、日々 40~50 件の配達、衛生を守る清掃、注文書の作成、箸やコメントの準備、広報・宣伝・収支と幅広い作業を進めて頂いています。お客様から応援いただき「ありがとう」と声をかけて頂けることがうれしく、店頭で足を運んでくださるお客様も随分増えています。

【おやつ作り】焼き菓子中心に製造販売を継続しています。10 年たつとそれぞれのお菓子のファンがおられ少しずつお客様が増えています。材料の高騰や品不足の時もあきらめず、同じ材料と昔ながらの作り方、レシピを貫いてきてよかったなど実感します。2 年ほど前からそのようなお菓子を認めて頂いて、木下財団の職員さんが立ち上げられた「スイートハートプロジェクト」の取り組みに使用頂けるようになり、大きな企業様へお送りすることが増えています。近日では伊藤忠商事様の ITOCHU SDGs STUDIO の「子供の視点カフェ」というプロジェクトに使用頂いており、東京の青山でバターケーキが活躍中です。

【畑仕事】岩田の畑で作物を育てるようになり 3 年、ようやく生産の循環が良くなりました。しかし面積的には小さく継続して探していたところ、今年からお声掛けいただき双栗の畑をお借りしています。担当ところで土や水などの環境をみながら植え付けの計画を立てて頂いています。また昨年末、川口の農家さんにご連絡くださり、キンカンを沢山いただきシロップ漬けに。農作業は午後の作業となるのですが、職員 2 名とメンバー 7 名が交代で暑い日も寒い日も毎日出掛け、野菜や果物を収穫できるように頑張っています。種から芽をだし、ポット苗にして畑に植え替え、有機栽培的な考え方で安心して食べて頂ける素材の生産と健康な体づくりの両輪です。

【組みひも製品】なかなか売り上げにしていけるには難しい手工芸品。10 年前に比べるとその出来栄は美しく、製品としてよいものになってきました。販売ツールは SNS やミネの通販サイト、手作りの靴屋さんといった個性なお客様が主流です。昨年担当メンバーさんが中心に販売計画を立て進めています。使いやすいとよい商品だと自分たちがまず自慢できること、そしてそれを発信することが今できる一番の方法かと話し合っています。

【ガレージの清掃】Joint Joy のお店は竹園商店街の一員です。昨年商店街が管理するガレージの清掃を任せて頂いています。もう少し慣れてきたら、花など植えてお客様の憩いの通路になれば…と考えています。

